

以下の準備をよろしくお願いします。

- ① 別紙 構音機関模式図を見本を見ずに（ブラインドで）描けるようにしていただくこと。
- ② ご自身が描いた模式図に以下の構音機関がどの位置にあるかを見本を見ずに入力できること。
 - 上唇
 - 下唇
 - 上歯
 - 下歯
 - 舌尖
 - 奥舌
 - 上顎歯茎
 - 硬口蓋
 - 軟口蓋
 - 口蓋垂
 - 鼻腔
- ③ 持ち物
 - A4 白紙（①②を実習していただきます。北野が机間指導いたします。）
 - 手鏡
 - ストロー
 - 水（水筒に水が望ましいですがペットボトルでも OK）
 - ステンレス製のスプーンまたはナイフ（息の曇りをキャッチできるものなら何でもよいです。ご持参の手鏡でキャッチできればそれで OK）

別紙

